



# 公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：後藤 晶一 編集人：沼沢 和明

## 第2回 定例会 代表質問

### 日本一くらしやすい川崎へ!

「川崎のあったかさと便利さ」が続くように! 6月13日、浜田まさとし議員は公明党の代表質問に立ち、子育て、災害対策、奨学金など27テーマについて質問しました。以下、主な内容です。



代表質問に立つ 浜田議員

### 待機児童ゼロを実現へ!

川崎市は、昨年度1年間で18か所の認可保育所を新設するなど、計1,505人の定員拡大を実施。しかし、4月現在の待機児童は昨年より177人減少したものの438人に。そこで、認可外保育所への支援充実など、取り組みを強化し、3年程度で待機児童ゼロ

口を達成すべきと迫りました。市長、こども本部長は「認可外の川崎認定保育園に通う児童について、保護者負担を減らすため10月から月5,000円の補助を行う」また、「4月から区役所・支所に子育てサポーターを配置し、入所できなかった人のア

フターフォローを実施している」と答弁し、「子育て世代が希望をもって生み育てることのできる取り組みを進める」と約束しました。

### 女性の活躍で地域を活性化!

IMF(国際通貨基金)が「日本は社会の高齢化に対応するために雇用対策や規制緩和で女性の就業を拡大すべき」と指摘していることをあげ、女性の再就職支援の充実を要請。また、市役所での女性管理職の積極登用を求めました。

市長、経済労働局長は、昨年度の「キャリアサポートかわさき(電話044-811-6088)」での女性向けセミナーに118名が参加し、登録者275名のう

ち103名が就職できたことを報告。「女性が経験や知識を活かしてイキイキと働くことで、地域活性化も大きく進むと期待する」と答え、支援強化を明言しました。

市役所の課長級に占める女性比率については、平成16年の6.5%を25年に18%に高めようとしたものの16.2%に留まったとし、「さらに高い目標を設定し、環境整備を図る」と答弁しました。

### 守れ! 災害弱者!

高齢者や障がい者など災害の時に支援が必要な人を「災害時要援護者」と言います。災害時要援護者本人の同意を得た上で避難支援用の名簿を作る「災害時要援護者避難支援制度」がスタートして5年、全国的に名簿登録が進まないことから(川崎市の登録率は23%)、対象者への丁寧なお知らせと、町内会・自治会向けのわかりやすいマニュアル作りを強化すべきと主張しました。

健康福祉局長は、5年間で一度しか郵送していないダイレクトメールを

再度対象者へ郵送すると答え、「登録促進の効果的な方法について、町内会・自治会、自主防災組織等のご意見を伺いながら検討する」と約束しました。



©NEW KOMETO

課長級市職員

### 女性比率目標届かず

16.2% 13年度18%ならず

川崎市職員の課長級女性比率は四月一日現在16.2%、二〇〇四年の6.5%を、一三年度までに18%にするという目標値に届いていないことが十三年度に公表された。阿部孝夫市長は、「女性管理職登用に努める」と述べた。

また代表質問とは別にも、阿部市長は「子ども」に議案質疑では、宮前区の「野川こども文化センター」の近隣住民が、市などに騒音の差止めと損害賠償を求めた訴訟の和解関連の遊び声が「騒音」とされ、遊び環境が制限される前例になっ

に議案質疑では、宮前区の「野川こども文化センター」の近隣住民が、市などに騒音の差止めと損害賠償を求めた訴訟の和解関連の遊び声が「騒音」とされ、遊び環境が制限される前例になっ